

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

12月定例会では11・12・13日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長 長智 康  
池上



## 一般質問

高橋悦朗 議員（公明党）

### オストメイトの方々への理解と配慮を

**議員** オストメイト

について、どのように理解しているか。また、市でその人数を掌握しているか。

**健康福祉部長** オス

トメイトとは、腸や尿管が損なわれた場合などに排せつを自分でコントロールでき

ないため、人工肛門、人工膀胱、いわゆるストーマを造設された方のことで、周囲に自分の障害を理解してもらうことが難しい場合があるものと認識している。市で把握している人数は、平成29年11月末現在、尿路系のストーマ装具給付者は20人、消化器系のストーマ装具給付者は93人であり、両方利用されている方が2人いるので、実人数は111人となっている。

**議員** 一般社団法人バリアフリー推進協会が普及しているオストメイト対応の前広便座「いい安座」について、市への寄贈を受け入れてはどうか。



前広便座「いい安座」 市庁舎への設置を

**健康福祉部長**

前広便座「いい安座」は、ストーマ装具からの排せつが便座に座ったまま楽にできる構造で、便座を取りかえるだけで、オストメイト対応となる機能的な便座と伺っている。受け入れについては前向きに検討する。

### 市立病院の耐震診断結果の公表について

**議員**

県内の「要緊急安全確認大規模建築物」の耐震診断結果が公表され、危険性の高い病院として、市立病院が掲載されたが、その経過と結果をどう受けとめているか。

**病院事務局長**

「建築物の耐



たかはし えつろう

震改修の促進に関する法律の一部が改正され、「要緊急安全確認大規模建築物」に対する耐震診断の実施及び結果の公表が義務づけられた。当院では、平成10年度に耐震診断を行い、本館、サービス棟ともに耐震強度不足との評価を受けているが、改修等には多額の費用を要することから、まずは経営の安定と基盤の強化を図ってきた。しかしながら、施設の安全面を考えると、早期に耐震化対策を講ずる必要があるものと認識している。

**議員** 市立病院の更新計画・財政的措置・用地問題等の検討及び改修・改築の方向性を示した審議及び検討を早期に始めるべきと考えるがどうか。

**病院事務局長** 来年度に「市立病院将来構想」を策定し、当院に求められる機能や地域において果たすべき役割などを市立病院の方向性を示し、その内容を踏まえて検討したい。

**ほかに** 「住宅用火災警報器の整備と更新」について質問。

## 「終わり良ければすべて良し」深刻化する終活問題への支援に着手を！

**議員** 高齢者人口と比率はどのようか。

**健康福祉部長** 平成29年12月1日現在、本市の65歳以上の方は全体の約23%、75歳以上の方は約11%となっている。

**議員** 横須賀市が始めた、ひとり暮らしで収入の少ない高齢者を対象に、市が葬儀社の情報を提供して、生前に葬儀や納骨等について契約を結ぶ「エンディングプラン・サポート事業」を参考に、新たに事業を企画してはどうか。

**健康福祉部長** 本市では、市内や近隣の葬儀社が低価格での葬儀、埋葬事業を行っていることから、現時点で事業実施のメリットは少ないと考えるが、ひとり暮らしによる将来の心配をされている方もいると思うので、当該事業については引き続き注視していくほか、現在本市が実施している緊急通報連絡システムの周知や見守り活動の拡大を図ってきたい。

**議員** 「を配布してはどうか。健康福祉部長 本人が死亡したときや病气などによって、自分の思いが伝えられなくなることを想定し、元氣なうちに意思表示をすることは有効と考えるが、エンディングノートにもさまざまな形式があるので、調査・研究したい。

### コミュニティバス4台目導入の是非について

**議員** 市長が自論む4台目のコミュニティバスを導入した場合、1台で年間約1千300万円の赤字が見込まれるが、市

財政が逼迫する中、不急不要と考えるがどうか。

**市長** 市長として財政的な見通しも立てながら取り組んでいくことは当然大事であり、限られた財源の中で、いろいろな要望に優先順位をつけながら、判断していくことになる。コミュニティバスについては、市民の方から拡充を求める声が非常に多く寄せられているので、障害のある方や高齢の方、子育て中の方などの移動手段をより拡充することが大事だと思っている。

### 自転車保険の加入について

**議員** 県条例改正による自転車保険加入の義務化が4月から始まるがどう対処するのか。

**市民生活部長** 県内で自転車損害保険等への加入が義務化されることについて、市民へ周知するとともに、市民の更なる自転車安全利用を促進するために、制度のあり方も含めて検討していきたい。



いちのせき かずいち

## あつたか市政を問う



コンビニ等へのAED設置を早急に

**議員** 平成26年9月定例会の一般質問で、AEDをコンビニエンスストアへ設置してはどうかという質問をした。そのときは難しい状況があり、話が進まなかったが、あれから3年が経った今も、状況は変わらずに設置に至っていない。利用頻度や費用対効果という面においてはよいものではないが、なくてはならない機器として、世間では十分認知されていると思う。24時間利用が望ましいAEDについて、コンビニエンスストアへの設置の働きかけはここまで進んでいるか。

**議員** 市庁舎の整備について、今後の計画の中で、市民を交えて意見を聞く考えはあるか。

### 市庁舎の整備について

**議員** 市庁舎の整備について、今後の計画の中で、市民を交えて意見を聞く考えはあるか。

**議員** 市庁舎の整備について、今後の計画の中で、市民を交えて意見を聞く考えはあるか。

**議員** 市庁舎の整備について、今後の計画の中で、市民を交えて意見を聞く考えはあるか。

### 市庁舎の整備について

**議員** 市庁舎の整備について、今後の計画の中で、市民を交えて意見を聞く考えはあるか。

**議員** 市庁舎の整備について、今後の計画の中で、市民を交えて意見を聞く考えはあるか。



おおいし こういち

## 大石 幸一 議員（公明党） AEDを24時間利用できる環境整備に向けて

### 部活動指導員の導入について

**議員** 学校教育法施行規則の改正に伴い、本市の中学校の部活動指導に当たっている教師や外部指導者に対して、今後どのような措置が求められるのか。また、教師の業務改善につながるのか。

**議員** 学校教育法施行規則の改正に伴い、平成29年4月1日から部活動指導員が制度化された。本制度は自治体が規則等を整備した上で、部活動指導員として任用するものであるが、現状では先行事例も少なく、文部科学省が進める「部活動指導員配置促進事業」についても、国や県からまだ詳細が示されていない状況である。部活動指導員の導入は、中学校教員の負担軽減並びに部活動の質的向上につながるものと認識しているの

で、今後も国や県、近隣市の動向を注視しながら、研究を進めていきたい。



## 防犯カメラの活用・PRと実績の公表をすべき！

**議員**

本市の犯罪認知件数が減少する中、更なる防犯対策として防犯カメラ整備事業が取り組まれた。町会や蕨警察署と連携して市内全域で約140基の防犯カメラが設置され、10月から運用されている。既に商店街に設置されている60基と合わせて市内で約200基と高密度になったが、市民の方からプライバシーは守られているのか、どのように運用・活用されているのかなど聞かれることがある。犯罪対策や交通事故等への画像の活用実績はあるのか。

**市民生活部長**

犯罪対策への活用については、運用開始以降、11月末現在で警察より刑事訴訟法に基づき11件の映像提供依頼があり、提供した。また、交通関係の案件でも1件の映像提供依頼があり、提供を行った。

**議員**

活用実績の公表をしてはどうか。また、商店街の防犯カメラも含め、犯罪抑止効果を期待して宣伝活動をしてはどうか。

**市民生活部長**

防犯カメラの犯罪抑止力として、事件が発生した場合には、警察への映像提供を行うことを今後も一層PRすることで、犯罪のない、安全安心なまちづくりに寄与したい。商店街とも協議しながら、活用実績の公表の方法、PR方法についても検討していきたい。

### 道路改修について

**議員**

市民の皆さんから道路改修の要望を多くいただくが、



ひき こうじ

なかなか遅々として進んでいない。細切れに行う道路改修は非効率なので、ある程度の距離をまとめて路面改修ができないか。

**都市整備部長**

1つの路線をある程度の距離でまとめて改修したほうが経費的にも効率的で、かつ無駄な継ぎ目を増やさないことにより、振動を抑制できるなどのメリットがある。しかし、道路、公園、下水道などのインフラの老朽化に伴い、多額の経費が必要となる中で、市の財源も限られていることから、地域のバランスや安全性、交通量などを考慮して、優先度の高い路線から順次、効率的な改修に努めているところである。

**議員**

限られた予算であることは理解するが、道路は市民の皆さんの生活にじかに結びついているものであり、また、路面の劣化が多い市という印象を与えないためにも、改善が進む予算を組んで対応してほしい。

## 一般質問

## 危険なドブにフタを

**議員**

道路の端の小径U字溝の中には、フタがなく、危険なものがある。市内の現状は、**都市整備部長** 分流式下水道を採用している錦町地区では雨水排水施設としてU字溝を設置しており、フタが設置されていない箇所がある。

**議員**

内水氾濫の原因にもなるので、大径U字溝に置き換えてほしい、せめてフタをしてほしい。現状は子どもにとって危険ではないか。

**都市整備部長**

落ちたらけがにつながるので、安全性が一番の課題となっている。

**議員**

フタがけが進まない理由は何か。

**都市整備部長**

一定の延長がある以上、これを改善するには相当な費用が必要になる。特に必要性の高いところは実施していく考えである。

**議員**

道路などの土木系は、市政運営の基本だ。しっかりと予算を確保してほしい。

### 民泊ビジネスの状況把握を

**議員**

訪日外国人旅行者増を目的とし、旅館・ホテルの量的不足を補うために、民泊を増やしていくというのが国の方針だが、さまざまなトラブルを生んでおり、問題もある。市内の民泊の現状は、**市民生活部長** 民泊の実態や状況等は把握していない。

**議員**

民泊は、これから増えていくだろう。民泊新法施行を半年後に控え、困難ながらも実態の把握に継続的に努力してもらいたい。また、旅館業法の許可、民泊新法の届出を管轄する県と連携し、市内



ほや たけし

の許可・届出状況を随時把握するようにしてもらいたい。

### 路上待機トラック対策を

**議員**

トラックがエンジンをかけたまま道路上で待機していることがある。音がうるさく排気ガスも発生し、見通しが悪く危険だ。市内の現状は、**市民生活部長** 市として現状は把握していないが、蕨警察署には少なからず通報があり、移動を促すなどの対応をとっている。伺っている。

**議員**

具体的には、錦町の元蔵法ヶ田線（わらびりんご通り）が、道路がきれいになるとともに交通量が増え、路上待機トラックが目立つようになっている。今後ますます増えると予想する。対策を、**市民生活部長** トラックの路上待機を事前に防止するため、トラック協会や安全運転管理者協会を通じて、各事業者に通知文書やチラシを配布し、周知・啓発を行っていききたい。

の許可・届出状況を随時把握するようにしてもらいたい。

## 障がい者入所施設の整備に一層の努力を

**議員** 入所施設などの障がい者の暮らしの場を市内に確保するためのこれまでの取り組みと今後の位置づけはどうか。

**健康福祉部長** 昨年10月に川口市、戸田市と情報交換を行い、昨年度は運営する法人への国庫補助金確保に向け、国に要望書を提出した。一方、直近4年間で新設の入所施設の申請をした法人は、すべて国からの補助金を受けられていないのが現状である。引き続き、南部圏域での広域的対応を基本に、入所施設確保について研究、検討する。

てほしいとの要望があった。

**議員** 国の態度を変えるために、また、世論形成を図るためにも最大限の働きかけを要望する。ところで、入所待機者解消のためには市内に施設が必要と考えるがどうか。

**健康福祉部長** 市内に施設が建設された場合でも、希望者の状況で優先度が決まるため、市民が優先して入れるというわけではない。費用や場所運営する法人の確保などの課題もある。しかし、建設を望む声も認識しており、調査研究、検討していきたい。

**議員** ぜひ検討を。市内への設置を呼び込む上で、川口市のような入所施設建設への補助制度が必要ではないか。

**健康福祉部長** その制度は国の補助が前提となっている。本市でどのような支援が可能か研究したい。

**議員** 国の制度とは別に、施設建設を補助する市独自の制度も研究するよう求める。

**健康福祉部長** 事業者と協議し、本市としてできる支援を考えた。事業者との懇談では、各自自治体が足並みをそろえて国の補助金確保を推進し



すずき さとし

### 商店などを支援するリニール助成を

**議員** 一昨年12月議会でも要望したが、市内の店舗や事業所の更新、事業転換を支援するリニール助成制度が必要と考える。検討状況はどうか。

**市民生活部長** 本市の実態に即した、売り上げ増や魅力ある店舗につながる制度として検討している。

**ほかに** 「留守家庭児童指導室の運営改善」「防災における「自助」への支援拡充」について質問。



魅力と活気のある商店街は市民の願い  
店舗・事業所の努力を応援する制度を

## SNSなどを使った悩み相談窓口の充実を

**議員** 小・中学生のいじめや悩みに対する相談体制について、学校内の相談窓口はどのようか。また、教育センターにおける来室及び電話相談の件数はどうか。

**教育長** 市内の小・中学校では全教職員が相談窓口になっているほか、中学校ではさわか相談員も相談窓口の役割を担っている。教育委員会としては、相談があった場合は校内で報告、連絡、相談を徹底し、全教職員で組織的に対応するように指導をしている。また、教育センターの各相談件数は、昨年4月から9月で、来室相談は延べ146件、電話相談は延べ35件だった。

**議員** LINEなどによる相談窓口をつくれなか。

**教育長** SNSを使った相談窓口について、文部科学省は当面の考え方として、「24時間子供SOOSダイヤル」の周知を改めて強化す

るなど、適切な配慮を行うことが望ましいとしており、本市では、昨年度に小・中学生が中心となり、スマートフォンを使い方のルールづくりを行い、現在、市内の全小・中学生が一生懸命取り組んでいるところである。この小・中学生の取り組み状況や国の動向を注視しながら研究していく。

**議員** いつでも相談できる窓口があるといいと考えるが、夜間対応についてはどうか。

**教育長** 本市では、24時間対応の相談窓口は設置していない。国の「24時間子供SOOSダイヤル」と、埼玉県「よこ子の電話教育相談」で対応

できるようなっている。

**議員** 市でも、LINEなど気軽に相談できるような窓口の設置を考えるよう要望する。

**議員** 今回手法を変えて実施したが、事業目的に対してどのような効果があったか。また、今後の見解はどうか。

**教育長** 今回は、市内各所にさまざまなジャンルの音楽会場を13か所設け、合わせて40人の出演者による18ステージのコンサートを開催し、まちじゅうに音楽があふれたことで、まちのにぎわいにつなげられたと考えている。今後については、実行委員会で見解を伺い、事業形態等を含めて検討する。



より気軽に相談できる環境整備を



ふるかわ あゆみ

### 蕨市民音楽祭について

**議員** 今回手法を変えて実施したが、事業目的に対してどのような効果があったか。また、今後の見解はどうか。

**教育長** 今回は、市内各所にさまざまなジャンルの音楽会場を13か所設け、合わせて40人の出演者による18ステージのコンサートを開催し、まちじゅうに音楽があふれたことで、まちのにぎわいにつなげられたと考えている。今後については、実行委員会で見解を伺い、事業形態等を含めて検討する。

**議員** イベントの名称変更を含め、ウェブと動画による常時配信、開催時期、資金の恒常的確保などについて検討していただき、より大きな形へと発展させてほしい。

**議員** イベントの名称変更を含め、ウェブと動画による常時配信、開催時期、資金の恒常的確保などについて検討していただき、より大きな形へと発展させてほしい。

## あつたか市政を問う



# 国保税率据え置きを歓迎 差し押さえは慎重に

**議員** 国保の広域化で税額が

高くなるという県の試算について、昨年5月30日の国会で日本共産党の衆議院議員が政府を追及し、「払える水準になるよう市町村は配慮すると認識している」との国の答弁を引き出した。①県は11月末に仮算定を出したが、その内容は、②法定外繰入金の見込みは、③県内他市の対応は。

**市民生活部長**

①県への納付金額は約23億5千33万円。②納付金額と県繰入金等から算定すると、平成30年度の法定外繰入金は約7億7千万円で、29年度と比べ約1億2千700万円の減少を見込む。③29年10月現在で、本市以外の39市のうち税率を見直す（値上げする）のは26市である。

**議員**

税の滞納者に行き過ぎた差し押さえが行われたとして、さいたま市で裁判になっている。生計費に食い込む差し押さえはしないようにすべき。蕨市での運用はどうか。

**総務部長**

28年度中は、国保

税分で280件の差し押さえを

実施している。差し押さえに当たっては、滞納者の財産調査をし、生活困窮に至らしめないように配慮している。国税徴収法に基づき、一人10万円、家族一人増えるごとに4万5千円の加算を食い込む差し押さえはやっていない。

## 図書館工事による休館問題

**議員**

今年、図書館は耐震化工事をするが、休館期間や休館中の対応等はどうか。

**教育部長**

休館期間や対応に



耐震化工事を実施する市立図書館。工夫して休館期間を短くするよう求める



かじわら ひであき

については、2月末の工事設計の詳細が分かり次第検討したい。利用者のご不便ができるだけ少なくなるよう、工事の工法などの検討を（設計部門に）お願いしている。

**議員** 開館日数についての経過はどのようか。

**教育部長** 昨年7月から月曜日が祝日の場合も開館するなど、開館日数を拡大している。

**議員** 工事による休館期間ができるだけ短くなるように求める。

## 改元への対応

**議員**

2019年5月に元号が変わるが、市の文書は西暦を併記するなど、わかりやすくすべき。改元に伴うシステム改修などにかかる経費増を抑えるべきと考えるがどうか。

**総務部長**

全国的に和暦使用が浸透しており、変更は考えていない。システム改修はできるだけ費用がかからないように検討をしているところだ。

## 一般質問

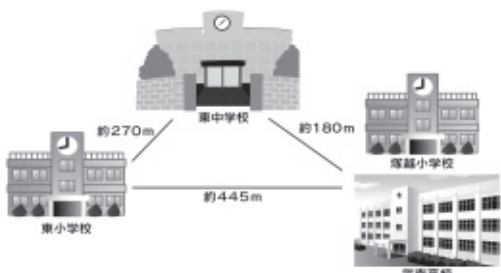
# キャリア教育を中心とした連携型小中一貫の取り組みについて

**議員** 子どもたちの夢につな

がるキャリア教育（※）において、基本は学力や体力の向上であるが、それと同時に「生きる力」の獲得も非常に大切になる。蕨市のキャリア教育の現状はどのようか。

**教育長**

本市では、各教科、道徳、特別活動など、すべての教育活動を通してキャリア教育を実施している。小学校では「生きる力」の基盤づくりを、中学校では自己の生き方を考え、行動する態度や能力の育成を図っている。また、



この距離を連携に活かそう！

ホップ・ステップ・わらびっ

子事業や、中学生フーキングウィークなどのさまざまな体験学習の機会を設け、キャリア教育を充実させている。

**議員** 視察先の高槻市の小中

連携の事例として、中学生になった時に小学校生活と違うことに戸惑う「中一ギャップ」を少なくすることで、不登校等の原因解消につなげたという話を聞いたが、蕨市での取り組みはどのようか。

**教育長**

中学生が小学校に行き、あいさつ運動や、球技の指導などを行ったり、小学生による中学校の授業見学や部活動の体験など、小・中学校が積極的にしかかわる機会を設けている。また、小・中学校の教員間でも情報交換を行うなど、「中一ギャップ」を減らすための取り組みを数多く実施している。本市のコンパクトさを活かして、さらに小中連携を充実していきたい。

※…キャリア教育とは、社会的・職業的自立に必要な能力



おいし けいこ

## 期日前投票率の向上にむけて

**議員**

先の衆議院選挙では、蕨市の期日前投票者数は前回を約3千人も上回ったが、アクセスの悪い塚越地区は前回とほとんど変化がなかった。期日前投票所の増設や駅前移動は難しいとのことだが、投票率向上のために視点を変え、投票と健康施策を結びつけて投票にきた方への健康情報の提供、血圧測定、健康マイレージ（制度導入後）のポイント付与、ぶらっとらび乗車賃の無料化など、付加価値をつけてみてはどうか。

**市長**

投票率向上にむけた取り組みは重要である。市によつては、いろいろな取り組みを行っているところもあるもので、今後、提案の点も含めて研究していきたい。

**ほかに**

「労働事業提案制度」について質問。

## 市営納骨堂の建立を

**議員** 市営塚越霊園の近年の空き状況や募集はどのようなか。

**都市整備部長** 平成24年に1区画の空きが出て募集を行い、17名の応募があった。近年、それ以外は空きが出ていない。

**議員** 市長タウンミーティングなどでも、市民から墓地の需要・要望があったが、墓地使用者のうち市外の方はどれくらいいるのか。

**都市整備部長** 全132区画中64区画を市外に住んでいる方が使用している。

**議員** 使用者の代替わりがあるにせよ、蕨市民が全然入



新たな納骨堂の整備を（写真は市営塚越霊園）

れないのに、市外の方の使用区画が多いのは問題ではないか。どこかで対策をすべきではないか。

**都市整備部長** お墓という性質上、どこかで区切つて移すことを強制するのは難しい。

**議員** 市営塚越霊園内にある無縁仏納骨堂の利用状況は。

**健康福祉部長** 身寄りのない方などは、市が委託した葬儀会社が無縁仏として別の所で埋葬まで行っているのですが、現在は新たに利用されていない。

**議員** 市民の方が希望すれば入れる市営納骨堂を作ること

で、さまざまな事情の方、一人暮らしの方などが安心して老後を暮らせるのではないかと考えているのか。

**市長** 無縁仏納骨堂には、すでに利用されている状況がある。また、民間でも納骨堂が増えてきているので、市として土地を確保して、新たに納骨堂を作るのは難しい。

**議員** 塚越霊園内には他にもスペースがあり、工夫して納骨堂を作ることではできないかと思



えのもと かずたか

う。あとは市長の考え一つだ。  
**みどり保育園の雨漏り対策を早急に**

**議員** 市長は公共施設について、最後の最後まで使い倒すという考えのようだが、それには十分なメンテナンスが必要だ。例えば、みどり保育園は、階段やホールなどの雨漏りが酷く、先生方も苦労している。万が一、子どもたちが滑るなどして、重大な事故になる前に、早急に対策を講じるべきと考えるが、いかがか。

**健康福祉部長** 2月末までに屋上の工事を行う予定である。

**議員** 保育園は長期間の休みがなく、日中もお昼寝などをしていて、配慮した工事を。

**健康福祉部長** お昼寝中は音の出る作業は行わない。また、園舎の園庭ではないほうに足場をかけ、園庭側には作業動線を作らないなど、配慮する。

**ほかに** 「ペットを飼えなくなった場合の対応やペットを連れた避難」について質問。

## 就学援助制度の改善を

**議員** 就学援助費を入学前に支給してほしい。また、昨年の6月定例会の一般質問の中で、「中学校においては入学前に支給できるよう検討する」との答弁だったが、制度に対する市の考え及び検討結果はどのようなか。

**教育部長** 今年度は少しでも支給時期を早められるよう準備を進め、従来は7月であったところ、6月に支給した。

平成30年度に中学校入学予定の進路保護者に対する新入学学用品費については、入学前の3月に支給できるよう現在準備を進めている。なお、小学校入学前の支給については、さまざまな課題があるため、近隣の状況を注視しながら引き続き研究していききたい。

**ひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度について**

**議員** 本市のひとり親世帯民間賃貸住宅家賃助成制度の内容及び助成の状況はどうか。

**健康福祉部長** 民間の賃貸住宅に居住する低所得のひとり親世帯に対して、家賃の一部を助成して経済的負担の軽減を図ることを目的とした制度であり、28年度が29世帯で32万円、29年度が20世帯で130万円（10月末時点）である。



みやした なみ

多く、また、子どもが成長してると家賃が6万円以下の住宅を探すのは難しいとのことである。このような事例からも、家賃上限を引き上げてほしいと考えるがどうか。

**健康福祉部長** 子どもの人数や成長に伴い、6万円の家賃上限を超える賃貸住宅を必要とする場合もある。世帯の人数や本市の賃貸住宅家賃の動向などを踏まえながら、慎重に検討していききたい。

**子ども医療費支給制度について**

**議員** 高校卒業（18歳年度末）まで対象を拡大してほしいがどうか。

**健康福祉部長** 年々、子ども医療給付費の支給が増加する中、高校卒業（18歳年度末）まで対象を拡大する場合、拡大分が全額市費になることを考慮すると、現時点での拡大は難しい。

**ほかに** 「学校給食のアレルギード対応」について質問。

## あつたか市政を問う



## 子どもと向き合う時間をつくるために教職員の業務改善を

**議員** 教職員の在校時間調査の結果及び教職員の病気休職者数の推移はどうか。

**教員長** 時間外勤務が月80時間を超えた教職員は小学校2人、中学校21人。病気休職者は昨年度4人、今年度3人。

**議員** 教職員の負担軽減に向けた対策や課題はどうか。

**教員長** 校務支援システムやタイムカードシステムの導入、また、毎月21日を「ふれあいデー」として教職員や児童・生徒が早く帰宅することを徹底し、さらに、本年度からは夏季休業中に閉庁日を設定した。しかし、教育相談等の件数が増加し、児童・生徒個々の教育的ニーズに応じるために在校時間が増える等新たな課題が出ている。

**議員** 中学校の部活動でのノークラブデー推進を。

**教員長** 毎月21日は部活動を行わない。複数名で部活動の指導に当たり、土日祝日に活動した部活は平日に休みを設定した。



けるように指導するなど、教職員の負担軽減に努めている。

### 「子育てするならわらび」保育行政の推進を

**議員** 来年度の保育園入園申し込みの受付状況と保育予約制の利用はどうか。

**健康福祉部長** 申し込みは前年度より50人増の399人。保育予約制は、育児休業等から復帰する月に入園することを4月入園の受付時に申し込める制度で、利用者は50人（46％）。

**議員** 待機児童ゼロを目指す取り組みはどのようなものか。



**健康福祉部長** 23年度から認可保育園8園、小規模保育園11園（4月開設予定の3園含む）を開設。今後とも必要性を見極めながら整備を進める。

**議員** 病児保育室の開設に向けた検討はどうか。

**健康福祉部長** 市内で保育園の新規開設を検討中の事業者は、病児保育室の併設を打診するなど、取り組んでいる。

**議員** 自主返納促進のための広報を。また、認知症の相談へもつなげてほしいがどうか。

**市民生活部長** 運転経歴証明書の提示で特典が受けられるシルバー・サポーター制度や75歳以上のコミュニティバス無料の周知に努める。また、免許更新時に認知症と診断されると、警察が市の高齢者担当課へ連絡する制度が今後導入される。

### 高齢者の運転免許自主返納制度の広報を

**議員** 「樹木の安全管理の強化」について質問。

**ほかに** 「樹木の安全管理の強化」について質問。

**ほかに** 「樹木の安全管理の強化」について質問。

**ほかに** 「樹木の安全管理の強化」について質問。

**ほかに** 「樹木の安全管理の強化」について質問。

**ほかに** 「樹木の安全管理の強化」について質問。

## 一般質問

## 平成30年度予算編成 本市の財政見通しを問う！

**議員** 今後も社会保障費の増加等が懸念されるなど、地方財政を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にある。地域の

実情に応じた地方創生を推進するために、地方財政上の制度について情報収集に努めるとともに、事業の精査を含め、適切に対応していく必要がある。本市の平成30年度の予算編成については、引き続き厳しい予算になると予測されるが、今後の財政状況はどのようなか。

**総務部長** 市税収入は、生産年齢人口の減少による減が見込まれるものの、各種施策の効果による増加も見込まれるなど、推計が大変困難である。一方、歳出では、社会保障経費の著しい増が続く中、さまざまな行政課題への取り組みにより経費の一層の増加が見込まれる。さらに、優先課題である公共施設の耐震化や土地開発公社の経営健全化などにも多額の財源が必要とされる厳しい状況が見込まれる。

**議員** 厚生労働省によると、生涯未婚率が年々増加傾向にある。その要因の1つに、結婚したくても経済的な理由で踏み切れない若者が多いことが挙げられる。結婚をためらう若者が増えれば出生率の低下につながり、少子化が進むおそれがある。そこで、仮称「仮市結婚新生活支援金制度」を創設する考えはないか。

**総務部長** 制度の創設には市

の支出も伴うことから、引き続き本市の人口の推移等を分析していくとともに、ご提案の制度も含め、若い世代の定住について研究していきたい。

**議員** 国民健康保険は、日本が世界に誇る国民皆保険の重要な制度であるが、高齢者や低所得者が多いなどの構造的な問題も抱えている。4月から国民健康保険の新制度が始まり、県が市町村とともに国民健康保険を運営することになるが、今後の財政運営はどのようなか。

**市民生活部長** 既存の保健事業やジェネリック医薬品の普及促進などの事業、国、県補助金を活用した新規の医療費適正化対策に取り組むとともに、広域化後の財政状況を踏まえた上で、保険税率の見直しの検討をしていきたい。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。



の支出も伴うことから、引き続き本市の人口の推移等を分析していくとともに、ご提案の制度も含め、若い世代の定住について研究していきたい。

**議員** 国民健康保険は、日本が世界に誇る国民皆保険の重要な制度であるが、高齢者や低所得者が多いなどの構造的な問題も抱えている。4月から国民健康保険の新制度が始まり、県が市町村とともに国民健康保険を運営することになるが、今後の財政運営はどのようなか。

**市民生活部長** 既存の保健事業やジェネリック医薬品の普及促進などの事業、国、県補助金を活用した新規の医療費適正化対策に取り組むとともに、広域化後の財政状況を踏まえた上で、保険税率の見直しの検討をしていきたい。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

**ほかに** 「道路整備事業」について質問。

## 協働事業提案制度について ～更なる活用に向けた提案～

**議員**

平成25年度に始まった協働事業提案制度であるが、第1回目に採択された事業団体への最長支援3年が終わり、今年度はその後の第一歩を踏み出す年であった。現状の課題と制度の展望はどのようなか。

**市民生活部長**

応募のあった10団体と担当部署に実施したアンケートにおいて、制度の周知が不十分である、応募の時期が早い、審査方法を見直してほしい等の意見があったので、課題の1つとしてとらえ、現在進めている制度の

見直しに反映していきたい。

また、市民活動団体にはさまざまな形態があるが、自主独立した活動が可能な団体の育成にも力を入れることが重要と認識している。今後とも制度の充実を図り、市民と市が協働をより一層進め、地域課題、社会的課題を解決していくことで、よりよいまちづくりにつなげていきたい。

**議員**

この制度は、市民の夢や思いを実現できる可能性を秘めた楽しい制度であり、行政にとっても、気がつかなかったことを発見できる夢のある制度だと思っている。今回この制度が見直されるということで、次の3つの提案をしたい。1つ目が、採択団体への補助期間中と期間終了後のフォロー体制の強化。2つ目が、しっかりとコース・チャレンスコースのようないろいろなレベルに応じたコースの創設。3つ目が、ふるさと納税で使い道を指定して寄附をする際の「協働」の項目に具体



まえかわ やすえ

### 蕨駅ホームドアの設計が年度内完了～設置予算措置へ～

**議員**

転落事故があった駅なのに、周辺の駅から比べるとホームドアができていくもどかしい思いは、平成31年度までの完成に間に合うのか、新年度当初予算に反映されるのかという不安につながっている。蕨駅へのホームドアの設置について、今後どのように進んでいくのか。また、今後の対応についてはどのようなか。総務部長 JR東日本大宮支社によると、平成31年度までの蕨駅へのホームドア設置に向け、現在設計を行っているとのことであり、市としては引き続き早期設置を要望していくとともに、新年度に向けた予算措置や埼玉県との調整及び補助金交付要綱等の整備などを行っていく。

### 〇日程

平成30年2月5日～6日

### 〇視察地・調査事項

### ◆三重県松阪市

「議会基本条例に基づき取り組みについて」

**概要**

松阪市議会では、平成24年11月に「松阪市議会基本条例」を施行し、同条例に基づき様々な議会改革の取り組みを実施しています。

主な取り組みとして、「議会報告会」は、平成25年から年2回ずつ、7名を1つの班として4班形成し、当初予算及び決算についての報告と市民との意見交換という内容で実施しています。参加者数は微減増を繰り返している状況であり、毎回参加者からのアンケートをもとに検証し、実施する時間帯の見直しや内容をよりわかりやすくするなどの工夫をしていました。

また、議会開会前に2日間をかけて執行部から予算の詳細な説明を受ける「予算説明会」や議論の活性化に資するものである「議員問討議」、閉会中に執行部へ「文書質問」を実施するなど、議会基本条例に基づきさまざまな取り組みを実施していました。

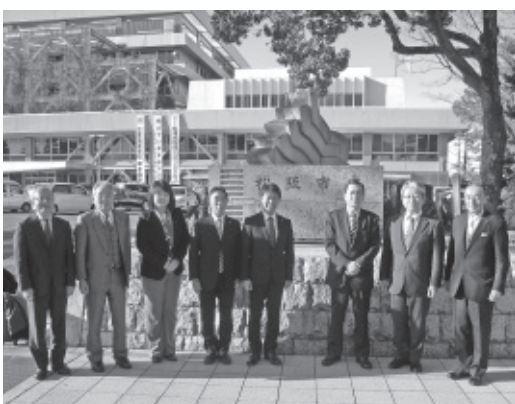
### ◆愛知県安城市

「議会ICT及び議会改革の取り組みについて」

**概要**

安城市議会では、平成27年6月に「安城市議会ICT推進プロジェクト

## 議会運営委員会視察報告



トチーム」を設置し、29項目のICT事業を4年間で実施する「議会ICT化推進事業計画」を策定しています。平成28年2月には、議会・庁舎内だけでなく、行政調査や普段の議員活動で活用することを前提にタブレット端末を導入し、全議員に配付しています。タブレット端末の導入メリットとしては、ペーパーレス化のほか、資料の持ち運びが便利になること、議会のスケジュールや情報共有による事務作業の確実性の向上などが挙げられ、デメリットは、費用負担や操作について個人差があること、効果を数値化しづらい点などが挙げられていました。

議員へのアンケートによれば、75パーセントの方がタブレット端末を活用することで、議会審議がやりやすくなったという結果が出ていました。



